

第II部門(水理学・水文学・河川工学・海岸工学・発電水力・衛生工学など)

▶222教室(第4新館2号館2F)——

10月8日(金)

砂移動・海浜変形

13:00~16:00

- (II-1) 波浪による移動床実験の相似則について
大阪大・正出口 一郎 榎木 享
- (II-2) 海浜変形に関する平面実験
東大・学阪東浩造 堀川 清司
- (II-3) 三次元海浜変形に関する一考察
北大・学佐々木 幹 夫 尾崎 晃・碓水善美
- (II-4) 砕波帯内の浮遊砂濃度分布に関する研究
名工大・正細井 正 延 安藤智幸・清水雅昭
- (II-5) 海浜断面形状と漂砂量分布との関係について
京大・学義 義 光 岩垣雄一・宮脇清文
- (II-6) 海岸堤防前面の浸食地形と反射率との関係について
徳島大・正三井 宏
- (II-7) 下新川海岸における海岸地形の変遷について
京大・正芝野 照 夫 土屋義人・高橋嘉樹
- (II-8) オホーツク沿岸湧別海岸の海浜過程について
北大・正尾崎 晃
- (II-9) 天竜川の土砂形態と遠州海岸の海浜変形
名城大・正伊藤 政 博
- (II-10) 阿賀野川河口前面における海底砂州の変化について
港湾技研・正柳島 慎 一 田中則男・加藤一正
- (II-11) 日本海側に存する湾の湾口狭窄部特性
防衛大・正重村 利 幸

▶222教室(第4新館2号館2F)——

10月9日(土)

波動・波力

9:00~12:00

- (II-12) 非定常流のFEMによる解法に関する研究
神戸大・学中井 茂 喜 松梨順三郎
- (II-13) 重複波動中における単一粒子の挙動に関する一計算法
大阪府高専・正平 山 秀 夫 岩垣 雄一
- (II-14) 新しいクノイド波理論による shoaling 計算について
京大・正安田 孝 志 土屋義人・山下隆男
- (II-15) 緩勾配斜面上での波の変形
北大・正佐伯 浩 大鶴 徳雄
- (II-16) 斜面上の砕波波形について
京大・正酒井 哲 郎 岩垣雄一・大塚英太郎
- (II-17) 砕波点の波の非対称性とその要因について
北見工大・正佐藤 幸 雄
- (II-18) リーフによる波の反射率・通過率
琉球大・正津嘉山 正 光
- (II-19) 底面質量輸送速度の高次近似解について
五洋建設・正近 藤 浩 右 堀川 清司
- (II-20) 水深変化にともなう不規則波の水位の頻度分布の変化について
京大・正木村 晃 岩垣 雄一
- (II-21) 不規則波の平均水位の変動について

大阪大・学森野 彰 夫 榎木 享・岩田好一郎

- (II-22) 波動理論による動水圧の解析
清水建設・正蔵田 忠 広 小林 浩・佐藤泰夫
- (II-23) 鉛直壁に作用する波力について
石川島播磨・正樋口 豊 久 久宝雅史・竹沢三雄
- (II-24) 防波堤の蛇行災害の一原因
徳島大・学川村 勇 二 三井 宏

風波・長波・湾水振動・潮流

13:00~16:00

- (II-25) エネルギー平衡方程式に基づく波浪の数値予知法の適用性について
愛媛大・正山口 正 隆 土屋義人・中村俊一
- (II-26) 外海波浪実験における波浪のスペクトル近似法
電力中研・正小森 修 蔵田 寛 好
- (II-27) 波浪変形の観測結果について
愛媛大・正伊福 誠 祐 沼 忠男
- (II-28)* 斜面を通過する長波の変形
中大・学森 龍 三 首藤 伸夫
- (II-29) 孤立性段波の砕波と分散
東北大・学鈴木 義 和 岩崎敏夫・小杉達郎
- (II-30) 2つの開口部をもつ長方形港湾の湾水振動特性
徳島大短・正村上 仁 士 島田富美男
- (II-31) 入射角度の変化による湾水の振動特性
徳島大・学野口 英 二 村上仁士・鈴木一光
- (II-32) 湾水振動における湾口水深の急変効果について
徳島大・正越智 裕 三井 宏・村上仁士
- (II-33) 津波防潮水門の遮蔽効果に関する数値解析
長崎大・正富樫 宏 由
- (II-34) 津波防波堤による湾内流動の変化に関する研究
東北大・学田島 康 平 岩崎敏夫・足立有平
- (II-35) 周期的ガレルキン有限要素法による潮流流水の解析
中大・正川原 睦 人 竹内則雄・首藤伸夫
- (II-36) 潮流流数値解析における流速分布係数について
中国工試・正宝田 盛 康 早川 典生
- (II-37) 入江の狭さく感潮水路部の水理特性
琉球大・正河野 二 夫 津嘉山正光・筒井茂明

▶222教室(第4新館2号館2F)——

10月10日(日)

消波効果・打上げ・越波

9:00~12:00

- (II-38) 音波モデルによる海岸構造物の消波機能と配置に関する基礎的研究
京大・正中村 重 久
- (II-39) 固定鉛直壁背後域への波の透過に関する研究一特に海面、海底に固定された場合一
山口大・正金山 和 雄 田中宏平・藤原輝男
- (II-40) スリットによる波浪の減衰機構一特に波圧について一
大阪工大・正井田 康 夫 久保 弘一

- (II-41) 透過性防波堤の波高伝達率に関する実験結果について 日 大・正 遠 藤 茂 三浦 晃 勝
- (II-42) 合成波によるパイプ型浮防波堤の効果 水 研 舎・正 田 中 寿 美 本間 仁・萩原国宏
- (II-43) 消波工による波の変形に関する数値解析 室 蘭 工 大・学 高 玉 佳 育 聡 近藤徹郎・藤間
- (II-44) 遊水部を有する鉛直消波護岸の消波効果について一多成分波の場合 大 阪 大・学 富士川 洋 一 樫木 亨・岩田好一朗
- (II-45) 二重の透過壁を有する鉛直消波岸壁の消波効果について(2) 大 阪 大・正 岩 田 好一朗 樫木 亨・栗田秀明
- (II-46) 傾斜式の位相差消波板の消波効果 中 部 工 大・学 吉 田 吉 治 高田 彰
- (II-47) 不規則波の制御方法に関する基礎的研究 名 工 大・正 石 田 昭 古田 正勝
- (II-48) 不規則波の打上げ高の分布特性 中 部 工 大・正 高 田 彰
- (II-49) 傾斜ブロック堤に対する波のうねり高算定のための一試案 東 北 工 大・正 沼 田 淳
- (II-50) 逆勾配護岸の越波量に及ぼす断面形状の影響について 関 西 大・正 井 上 雅 夫

海洋構造物

13:00~16:00

- (II-51) 単円柱に作用する波圧と波力について 大 阪 大・学 三 木 秀 樹 樫木 亨・中村孝幸
- (II-52) 単円柱の波向方向に作用する波力による共振現象について 愛 媛 大・正 中 村 孝 幸 樫木 亨・三木秀樹
- (II-53) 円柱の抗力係数および質量係数について 東 大・学 磯 部 雅 彦 堀川 清司
- (II-54) 直柱体に作用する波力について 清 水 建 設・正 萩 原 運 弘 小島 啓治
- (II-55) 柱状構造物に作用する不規則波力について 東 大・学 辻 岡 和 男 堀川 清司
- (II-56) コンクリート方塊あるいは割石によるケーソン式混成堤の補強効果 第 二 港 建・正 平 野 忠 告 竹田英章・佐々木克博
- (II-57) 海洋構造物の設計計算プログラム 川 崎 製 鉄・正 三 原 重 郎 大方
- (II-58) 浮体の運動に対する係留の効果 大 成 建 設・正 富 吉 從 夫 松元和彦・花村哲也
- (II-59) 浮遊構造物の曳航抵抗実験 大 成 建 設・正 田 中 良 弘 花村 哲也
- (II-60) 太陽熱エネルギー採集用浮ブロック群の構造について 日 大・正 阿 部 忠 岡本但夫・木田哲量
- (II-61) 太陽熱採集用浮ブロック群の繫留用碇塊の研究 日 大・学 今 林 敏 明 岡本但夫・木田哲量
- (II-62) 太平洋上で太陽エネルギー採集用碇塊の据付け方法について 日 大・正 栗谷川 裕 造 岡本但夫・遠藤 吉川 秀夫
- (II-63) 洋上採集エネルギーの送電方法に関する研究 日 大・正 沖 野 善 治 郎 岡本但夫・小池賢次

▶232 教室 (第 4 新館 2 号館 3F)——

10月8日(金)

治水計画・利水計画・結水河川

13:00~16:00

- (II-64) 群馬県桐生川の歴史的考察 群 馬 県・正 安 濟 勝 一 山本 好克
- (II-65) 利根川治水理念の考察(その8) 河 川 調 査 会・正 宮 村 忠 裕 高橋
- (II-66) 利水用貯水池における目標放流量系列の設定と供給可能量との関係 名 工 大・正 長 尾 正 志 井上 繁行
- (II-67) 流域における水資源の配分・利用方法について 建 土 研・正 三 好 逸 二 岩松幸雄・関 正和
- (II-68) 渇水時の貯水池の放流目標決定に関する一考察一確率 D.P. の適用 建 土 研・正 中 村 昭
- (II-69) ダム群の大規模システムにおける最適操作 京 大・正 小 尻 利 治 高橋琢馬・藤井 修
- (II-70) ピーク流量最小化を主目的とする貯水池群操作の新解法 近 畿 大・学 前 田 強 江藤 剛治
- (II-71) Substitutive cut 制御についての一考察 神 戸 大・正 神 吉 和 夫 松梨順三郎
- (II-72) 再生水資源開発と開放系循環利用計画 近 畿 地 建・正 前 田 諭 村上雅博・高橋 裕
- (II-73) 内水排除に関する水理施設の経済性について 九 州 産 大・正 崎 山 正 常 加納正道・中田欣也
- (II-74) 動的感度分析法の実用化のための基礎的研究 近 畿 大・学 西 村 克 己 江藤 剛治
- (II-75) 北海道東部河川の結水期間について 北 見 工 大・正 中 尾 隆 志 佐渡 公明
- (II-76) 結水河川流量の推定について 岩 手 大・正 平 山 健 一 吉田弘司・長岐 徹

▶232 教室 (第 4 新館 2 号館 3F)——

10月9日(土)

水文統計・降雨・流出モデル

9:00~12:00

- (II-77) 時系列における定常性と非定常性について 北 大・正 浜 中 建 一郎
- (II-78) ARIMA モデルによる年降水量系列の解析について 秋 田 高 専・正 長 谷 部 正 彦
- (II-79) 最尤法によるリターンペリオドの信頼性評価について 徳 島 大・正 端 野 道 夫 田中 孝夫
- (II-80) 日降水シミュレーション手法についての一考察 建 土 研・正 山 中 林 隆 幸 敦 小林 隆幸
- (II-81) 多地点日雨量時系列に関する新しいモデルの提案とそのシミュレーション 近 畿 大・正 江 藤 剛 治 室田 明
- (II-82) 降水量の分布に関する研究 東 工 大・学 佐 藤 直 良 吉川 秀夫
- (II-83) 降雨の時空間分布がハイドログラフの波形に及ぼす効果について 京 大・正 小 葉 竹 重 機 石原 安雄

- (II-84) 単位図の非線形特性について
東大・学河西基
萩原能男
- (II-85) 降雨一流出系における非線形核について
東工大・学灘岡和夫
日野幹雄
- (II-86) 分布型モデルによる流出のシミュレーション
および流域の集中化スケール
京大・正惟葉充晴
高棹琢馬・北村英和
- (II-87) 水文流出の振動系としての特性について
山梨大・正萩原能男
- (II-88) Time variant 水文モデルの検討
都立大・正新井邦夫
丸井信雄・上原正晴
- (II-89) カルマン・フィルター及びGMDHによる流
出計算の実際 三菱重工・正西田吉男
岩崎敏夫
- (II-90) 確率統計水文学の実河川への適用における問
題点 東工大・正砂田憲吾
日野幹雄

地下水・地下密度流

13:00~16:00

- (II-91) 実験室洪水における流域特性と解析定数につ
いて 日大・正坪松学
三浦晃・西川肇
- (II-92) 急勾配粗面上の雨水流の抵抗則に関する二、
三の考察 徳島大・学藤原敏
端野道夫
- (II-93) 不定流モデルから不等流モデルへ低平地帯の
雨水流出解析 (2)一
京大・正早瀬吉雄
角屋睦
- (II-94) 低減部を考慮した流出解析法の試み
法政大・学小林康和
西谷隆亘
- (II-95) 集中型モデルによる流出誤差分析
京大・正池淵周一
高棹琢馬
- (II-96) 都市流出の流域モデルに関する考察
愛媛大・正渡辺政広
豊国永次
- (II-97) 都市化による流出変化
名古屋大・正伊藤紘慶
西沢常彦・足立昭平
- (II-98) 流域の都市化についての一考察
新潟大・正岡本芳美
- (II-99) 洪水到達時間推定式について
京大・正角屋睦
福島晨
- (II-100) 火山灰層斜面域における雨水流出について
(1) 熊本大・正下津昌司
- (II-101) 降雨流出と災害 (3)
防災センター・正木下武雄
- (II-102) 西上総丘陵における低水流出調査一地質構造
との関連一 東大・学仁科克己
虫明功臣・高橋裕
- (II-103) 通減曲線の形状の特性
建中部地建・正江川太朗
竹内俊雄

▶232 教室 (第4新館2号館 3F)——

10月10日(日)

流出実験・流出解析・低水流出

9:00~12:00

- (II-104) 流域の地形形態に関する研究
京大・学棚橋通雄
岩佐義朗・中野正明
- (II-105) 河域地形構成要素の平面量の分布特性につ
いて 京大・正友杉邦雄
- (II-106) 小流域の代表性と地形則

金沢大・正宇治橋康行
高瀬信忠・尾嶋茂久

- (II-107) 洪水流出と水文地形量
防災センター・正岸井徳雄
橋本明・西口哲夫
- (II-108) 流出解析モデルへの地形計量法の導入につ
いて 名古屋大・正足立昭平
手島和文
- (II-109) 流域の地形構造と出水機能
北大・正藤田睦博
坂之井和之
- (II-110) 流域構成と洪水特性 (3)
東大・学山田啓一
高橋裕
- (II-112) 二層砂層における雨水浸透に関する考察
京大・正下島栄一
石原安雄・古谷博司
- (II-113) 山腹斜面域における不飽和浸透流の二次元解
析 京大・正岡太郎
- (II-114) 不飽和透水係数の直接測定について
近畿大・学岡田明也
江藤剛治
- (II-115) 地下水流出の機構と pf について
日本工営・正村上雅博
虫明功臣・高橋裕
- (II-116) 流域の保水量とその変化について (2)
広島大・正三島隆明
金丸昭治

流域地形と流出・雨水の浸透

13:00~16:00

- (II-117) 変分原理による浸透流の自由境界面の微分方
程式について 九大・学尾崎哲二
上田年比古・神野健二
- (II-118) 自由表面の流線を考慮した重力井戸の近似解
九大・正神野健二
上田年比古
- (II-119) 地下水取水と地盤変動に関する基礎的研究
埼玉大・学小田部淳
佐藤邦明・小見行雄
- (II-120) 砂層透水について
日大・学吉長敏幸
藤田龍之・安田禎輔
- (II-121) 揚水井における連続条件を考慮した非定常状
態の一解法 (区分的線形解)
東海大・正星田義治
濱野啓造・市川勉
- (II-122) 水底トンネル切り羽からの湧水に関する実験
的研究 埼玉大・正渡辺邦夫
佐藤邦明
- (II-123) 井戸からの淡水注入による淡塩境界面の解析
九州産大・正杉尾哲
上田年比古
- (II-124) 累層帯水層および傾斜面の地下塩水くさび
埼玉大・正佐藤邦明
- (II-125) 塩水飽和地盤中を上昇する淡水の境界面の混
合について 九大・学藤野和徳
上田年比古・神野健二
- (II-126) 沿岸部自由地下水における塩水楔の挙動に関
する実験 徳島大・正垂水陽一
尾嶋勝

▶242 教室 (第4新館2号館 4F)——

10月8日(金)

水理実験・噴流

13:00~16:00

- (II-127) 石油タンクよりの流出現象の模型実験
小松製作所・正高杉信爾
椎貝博美
- (II-128) 登川流路工 (信濃川支川) の水理模型実験に
関する研究 (第2報)

- 石川高専・正 布 本 博
高瀬信忠・立石 晶
- (II-129) 副ダムに関する実験
電源開発・正 丸 山 勝 久
栗津清蔵・大津岩夫
- (II-130) 開水路におけるシル型減勢工に関する実験的
一考察(第一報)
木更津高専・正 白 井 淳 治
大木 正喜
- (II-131) 管路の諸平均流速式と諸係数の比較検討
日 大・学 古 河 幸 雄
安田慎輔・藤田 豊
- (II-132) 流速測定へのホログラフィの応用
神 戸 大・学 木 佐 幸 佳
梶 源亮
- (II-133) 管路におけるビトー管の精度
日 大・正 藤 田 豊
安田慎輔・藤田龍之
- (II-134) 水平に噴出する壁面噴流
山 口 大・正 斎 藤 隆
- (II-135) 衝突および再接触噴流による壁面噴流
西日本工大・正 赤 司 信 義
橋東一郎・斎藤 隆
- (II-136) 高速水噴流による破砕に関する研究
鴻 池 組・正 大 橋 昭
柳井田勝哉
- (II-137) 水槽の振動に伴う水面の動揺防止についての
基礎的研究(その3)
埼 玉 大・学 白 井 伸 一
秋山成興・中村広昭
- (II-138) 主・副ゲートを有する放水路の水理特性
日 立 造 船・正 有 馬 健 次
巻幡敏秋・柏原正和
- (II-139) 砂防ダム騒音対策についての考察
建 設 技 研・正 林 栄 港
森田泰治郎

▶242 教室(第4新館2号館4F)——

10月9日(土)

分流・合流・固定床の水理

9:00~12:00

- (II-140) 分水路流れの機構に関する実験
舞鶴高専・正 川 合 茂
田中祐一朗
- (II-141) 分岐水路の流れ(1)
東 洋 大・正 福 井 吉 孝
本間 仁・荻原国宏
- (II-142) 河川合流部の水理学的研究
岐 阜 大・正 三 木 秀 雄
河村 三郎
- (II-143) 合流点近傍の流れに関する実験的研究
神 戸 大・学 山 崎 篤
神田 徹
- (II-144) 開水路断面急拡部における流れの内部構造に
ついて
京 大・学 藤 井 良 啓
今本博健・藤井義文
- (II-145) 連続した湾曲水路の流速分布についての実験
報告
建 設 技 研・正 倉 島 幸 夫
田代 洋一
- (II-146) 水位変化に伴う流出入のある流れの場の実験
東 工 大・学 村 田 和 夫
福岡 捷二
- (II-147) 平板上の薄層流の水理特性について
神 戸 大・学 小笠原 俊 明
神田 徹・梅田真三郎
- (II-148) 跳水後の流況
日 大・正 大 津 岩 夫
栗津 清蔵
- (II-149) 堰上げ背水曲線に関する実験的研究
関東学院大・正 野 田 文 彦
- (II-150) 粗粒子粗度をもつ急勾配水路の流れに関する
基礎研究
日 大・正 高 橋 迪 夫
木村喜代治

- (II-151) 水理実験による不定流の数値計算法の検討
京 大・正 井 上 和 也
岩佐義朗・平岡順次
- (II-152) 都市河川網の数値計算法について
京 大・正 綾 史 郎
岩佐義朗・井田隆久

蛇行・土砂流出

13:00~16:00

- (II-153) 流れの形態形成学
九州電力・正 村 瀬 次 男
- (II-154) 実際河川における砂礫堆の形成に関する一考
察
早 大・正 鮎 川 登
北川 善広
- (II-155) 蛇行流路の変動に関するシミュレーション
北 大・正 長谷川 和 義
- (II-156) 自由蛇行流の抵抗特性
北 大・正 山 岡 勲
長谷川和義
- (II-157) 河川の自由蛇行に関する理論的研究
埼 玉 大・正 池 田 駿 介
日野幹雄・吉川秀夫
- (II-158) 拘束蛇行流れの特性について
北 大・正 黒 木 幹 男
岸 力・山内泰次
- (II-159) 蛇行流路の発達に関する水理学的解析
京 大・正 藤 田 裕 一郎
村本 嘉雄
- (II-160) 流出土砂量の年変動特性についての一考察
建 土 研・正 島 貫 徹
須賀 徹三
- (II-161) 流出土砂量の全国分布特性
建 土 研・正 徳 永 敏 朗
須賀亮三・島貫 徹
- (II-162) 貯水池の堆砂量と堆砂形状のシミュレーショ
ンについて
京 大・正 道 上 正 規
- (II-163) 土石流の流動に関する研究
京 大・正 高 橋 保
- (II-164) 人工降雨による土石流の発生機構に関する研
究
九 大・正 岩 元 賢
平野宗夫・原田民司郎

▶242 教室(第4新館2号館4F)——

10月10日(日)

掃流砂・浮遊砂

9:00~12:00

- (II-165) 球の離脱限界実験と掃流砂れき量の計算
武蔵工大・正 王 方 一
- (II-166) 流砂量に与える河床波の影響について
東 北 大・正 三 王 英 寿
岩崎敏夫・庄子 隆
- (II-168) 混合砂礫の掃流現象に関する研究
京 大・正 水 山 高 久
芦田和男・高橋 保
- (II-169) 混合粒径砂の流砂量
建 土 研・正 深 見 親 雄
葛西 敏彦
- (II-170) 橋脚周辺の洗掘、特に迎え角による効果につ
いて(第2報)
日 大・正 栗 津 清 蔵
倉持 明夫
- (II-171) 浮遊砂流の水理特性と浮遊砂量
北 大・正 板 倉 忠 興
岸 力・篠田美樹
- (II-172) 河床付近の浮遊砂の挙動について
徳 島 大・正 杉 尾 捨三郎
土井建朗・坂東 高
- (II-173) 長方形水路の浮流土砂量算定について
日 大・正 木 村 喜代治
- (II-174) 河川における浮流砂量の算定について
佐 賀 大・正 渡 辺 訓 甫
椿 東一郎
- (II-175) 砂粒子の浮上機構のモデル化—渦輪によって

誘起される流れとの関係—

東 工 大・正 福 岡 捷 二
石 田 貴

- (II-176) 流体と固体粒子の相対運動に関する研究
下水道事業団・正 石 田 貴
福岡捷二・田平茂之
- (II-177) 粒子浮遊流の流動特性に対する粒子径の影響
について 東 大・学 三 村 信 男
松尾 友矩

河床波・抵抗則・河川の縦断形

13:00~16:00

- (II-178) 飛砂・流砂における砂面の不安定性と砂れん
の発生限界について
京 大・正 河 田 恵 昭
土屋義人・林 省造
- (II-179) 平衡状態の河床波形状について
電力中研・正 宮 永 洋 一
日野 幹雄
- (II-180) Sand waves の形状特性
北 大・正 岸 森 力・明 巨
藤田秀悦
- (II-181) 河床波の成長過程に関する研究
京 大・学 辻 本 哲 郎
中川 博次
- (II-182) 河床波の生成と発達に対する流体粘性の影響
について 京 大・正 芦 田 和 男
坪香 伸・谷川俊男
- (II-183) 直角段落ち背後の流れについて
東 工 大・学 石 川 忠 晴
吉川 秀夫
- (II-184) Ripples および Dunes の抵抗について
徳 島 大・正 岡 部 健 士
杉尾捨三郎・加藤佳夫
- (II-185) 河川の粗度推定に関する一考察
北 見 工 大・正 内 島 邦 秀
- (II-186) コルゲート柵渠の粗度係数に関する実験的考
察 日 鐵 建 材・正 末 成 健 夫
石川秀也・大同淳之
- (II-187) 粗粒子が突起して散在する河床の抵抗則
立 命 館 大・正 大 同 淳 之
- (II-188) 開水路複断面流れに関する実験的研究(2)
京 大・正 久 下 俊 夫
今本博健・吉野清文
- (II-189) 河床材料から見た河川の縦断形
建 土 研・正 山 本 晃 一
- (II-190) 裸地斜面における流路の縦断形状について
京 大・正 沢 井 健 二
芦田 和男

▶213 教室 (第4新館3号館 1F)——

10月8日(金)

分散・拡散

13:00~16:00

- (II-191) 開水路流れの縦分散について
京 大・正 村 本 嘉 雄
道上正規・伊丹正紀
- (II-192) 変断面水路における死水域を考慮した水質輸
送モデルについて 大 阪 大・正 中 辻 啓 二
榎本 亭
- (II-193) 混合を考慮した二層一次元不定流についての
一考察 建 土 研・正 須 賀 亮 三
- (II-194) 強混合型河川における塩分の数値計算法と縦
分散係数について 長 崎 大・正 古 本 勝 弘
- (II-195) 河川の横方向拡散のシミュレーションに関す
る研究 東 大・学 岩 崎 光 隆
堀川 清司
- (II-196) 緩流河川における懸濁物質の挙動について
神 戸 製 鋼・正 西 村 博
宗 官 功・海老瀬潜一

(II-197) 凹形領域における水質混合について

東 大・学 福 島 武 彦
松尾 友矩

- (II-198) 瀬戸内海水理模型実験—潮汐潮流の相似性
について— 中 国 工 試・正 早 川 典 生
田辺弘道・高杉由夫

- (II-199) 瀬戸内海水理模型実験—拡散実験手法につ
いて— 中 国 工 試・正 上 嶋 英 機
湯浅一郎・藤原建紀

- (II-201) 拡散数値解析についての二、三の考察
九 州 産 大・正 加 納 正 道
崎山正常・細川土佐男

- (II-202) 地面の放射冷却に伴う対流
長大橋センター・正 東 原 紘 道
大月 哲

▶213 教室 (第4新館3号館 1F)——

10月9日(土)

密度噴流・成層流

9:00~12:00

- (II-203) 三次元水平密度噴流の連行係数の評価
大 阪 大・学 広 畑 彰 一
村岡浩爾・中辻啓二
- (II-204) 密度噴流における乱れについて
九 大・正 小 松 利 光
椿東一郎・神谷誠一郎
- (II-205) 密度噴流における連行現象について
福岡建設C・正 松 山 龍 太 郎
椿東一郎・小松利光
- (II-206) 温水ジェットの水平放流に関する実験的研究
東 北 大・学 田 中 博 通
岩崎敏夫・江原昌彦
- (II-207) 固-液混相噴流における 流体と砂粒子の拡が
りについて 建 土 研・正 吉 川 勝 秀
吉川秀夫・森山越郎
- (II-208) 成層密度流における界面連行に関する実験的
研究(第一報) 大 阪 大・学 沢 田 隆
室田 明・平田健正
- (II-209) 淡塩二層流の連行係数
建 土 研・正 高 橋 晃
須賀 亮三
- (II-210) 水路内の水門による下層取水について
九州工大・学 高 田 能 典
浦 勝
- (II-211) 排気装置による温排水の混合冷却効果に関す
る実験 電 力 中 研・正 曾 我 雅 海
和田 明
- (II-212) 海面上の石油の拡がり(第III報)
中 大・学 大 野 操
首藤 伸夫
- (II-213) 空気混入流の跳水について
神 戸 大・学 檀 和 秀
篁 源亮

乱 流

13:00~16:00

- (II-214) 大スケール乱れの発生・発達機構に関する研
究 京 大・正 上 野 鉄 男
宇民 正
- (II-215) 水面観察にもとづく大スケール乱れの研究
京 大・正 宇 民 正
上野 鉄男
- (II-216) 開水路流れにおける乱れの移流過程について
京 大・正 今 本 博 健
- (II-217) 開水路流れにおける乱れの多重構造性につ
いて 京 大・学 浅 野 富 夫
今本博健・石垣泰輔
- (II-218) 開水路流れにおけるレイノルズ応力のスペク
トル特性について 京 大・学 石 垣 泰 輔
今本博健・浅野富夫
- (II-219) 開水路の乱れの強さの分布について
日 大・正 長 林 久 夫

木村喜代治

(II-220) 水草のある流れに関する研究

東工大・学 歌 原 英 明
日野 幹雄

(II-221) 開水路の段落ち付近における乱流特性について(第2報)

神戸大・学 伊 藤 直 喜
松梨順三郎

(II-222) 開水路乱流におよぼす水面波の影響について

京大・正 祢 津 家 久
中川 博次

(II-223) 開水路乱流場に及ぼす浸透流の影響について

水資源公団・正 為 沢 長 雄
中川博次・祢津家久

(II-224) 円管内振動流の流速分布形および抵抗則

東工大・正 沢 本 正 樹
日野 幹雄

(II-225) 2次元乱流とそのシミュレーション

中大・学 山 田 正
林 泰造

(II-226) 回転式流速計による乱流の一測定法

信州大・正 余 越 正一郎

▶213 教室 (第4新館3号館 1F)——

10月10日(日)

環境水理 (貯水池 湖沼海岸)

9:00~12:00

(II-227) 横山ダムにおける洪水後の濁水調査

名古屋大・正 中 村 俊 六
足立 昭平

(II-228) 成層化した貯水池での水温・濁度の予測計算

長崎大・正 野 口 正 人
岩佐義朗・松葉保幸

(II-229) 成層化した貯水池における濁度物質の挙動

京大・正 江 頭 進 治
芦田 和男

(II-230) 温度躍層の発達した貯水池における濁水の挙動

九大・正 金 子 新 治
平野宗夫・式正 治

(II-231) 貯水池の水温予測について

京大・正 松 尾 直 規
岩佐義朗・有馬 修

(II-232) 小川原湖の実態について

八戸高専・正 菊 地 弘 志
阿部正平・福地利昭

(II-233) 諏訪湖の湖流に関する研究

信州大・正 富 所 五 郎
余越正一郎

(II-234) 釜房湖における溶存酸素の減少について

東北大・正 平 田 敏 弘
佐藤 敦久

(II-235) 湖沼モデルにおける⁶⁰Co, ¹³⁷Csの移行と蓄積

京大・学 小 池 哲 夫
寺島 泰

(II-236) 大気と海面間の熱交換について—熱損失係数—

鹿島建設・正 住 田 徹 晃
佐伯 浩・尾崎 晃

(II-237) 湾内における海水交換モデルについて

全日本C・正 岩 部 政 尚
三木一美・前田純一

(II-238) 海水の生成と氷厚について

北大・学 阿 部 茂
佐伯 浩・浜中健一郎

逆洗浄・汚泥

13:00~16:00

(II-239) 砂ろ層逆流洗浄時の水理特性について

大阪工大・正 木 原 敏
上木 紀夫

(II-240) 急速ろ過層の逆流洗浄機構について

北見工大・正 海老江 邦 雄

(II-241) 急速ろ過池の逆洗効果に関する実験的考察

九大・正 埜 口 英 昭

上田年比古・下茂道人

(II-242) 清浄砂層における損失水頭公式の検討

室蘭工大・学 新 妻 哲 也
穂積 準

(II-243) 下水汚泥の物性と管路輸送について

大阪工大・正 高 田 巖

(II-244) 汚泥の摩擦損失係数について

国土館大・正 金 成 英 夫
遠藤郁夫・佐藤弘一

(II-245) 懸濁粒子の水中での挙動

日大・学 大 沢 吉 範
金井昌邦・三森照彦

(II-246) 汚泥の圧縮沈降に関する基礎的研究

九大・正 楠 田 哲 也
粟谷陽一・古賀憲一

(II-247) フロックの連続測定法に関する研究

京大・学 宇 治 貞 宏
住友 恒・松岡 譲

(II-248) フロックの最大成長径の決定因子について(II)

九大・正 古 賀 憲 一
粟谷陽一・楠田哲也

(II-249) 再曝気係数に及ぼす流れの三次元的効果

九大・学 木 原 二 郎
粟谷陽一・松浦知徳

(II-250) 乱流特性の水質反応に及ぼす影響に関する実験研究

労働省・正 寺 岡 忠 嗣
住友 恒・岩井重久

(II-251) 下流水質による汚濁源の解析

京大・学 松 岡 譲
岩井重久・早瀬隆司

(II-252) 河川水質変化の時系列解析

京大・正 海老瀬 潜 一
宗宮 功・小池勝則

▶223 教室 (第4新館3号館 2F)——

10月8日(金)

水 処 理

13:00~16:00

(II-253) 通常の浄水処理過程における非イオン界面活性剤の除去

公衆衛生院・正 黒 沢 義 乘
南部 祥一

(II-254) 2次処理水の殺菌法としての塩素処理とオゾン処理

岡山大・正 河 原 長 美
宗宮 功・佐野純也

(II-255) かん水のNH₄除去

日大・学 合 六 雅 彦
金井昌邦・大木宣章

(II-256) 有機着色成分の凝集機構

道公害研・正 伊 藤 英 司
丹保 憲仁

(II-257) 地下水フミン質の上水化

日大・学 岩 崎 春 樹
金井昌邦・大木宣章

(II-259) 急速砂ろ過における懸濁物抑留について

東北大・学 今 野 弘
佐藤 敦久

(II-260) 酸化処理における窒素の挙動について

岩手大・学 渡 辺 昌 洋
桃井 清至

(II-261) 溶質の気泡吸着による除去の試み(I)

日大・学 山 下 仁
金井昌邦・大木宣章

(II-262) 生物膜の剪断強度に関する基礎的研究

早大・学 江 森 弘 祥
遠藤 郁夫

(II-263) 水電解におけるAl極板の変質について(II)

日大・学 鈴 木 秀 治
金井昌邦・三森照彦

(II-264) 電解による ζ -電位の低下(IV)

都立高専・正 三 森 照 彦
金井 昌邦

(II-265) 配管用ボルトの電蝕

▶223 教室 (第 4 新館 3 号館 2F)——

10 月 9 日 (土)

高次処理

9:00~12:00

- (II-266) 硫酸パン土汚泥の脱水
建 土 研・正 京 才 俊 則
太田 久昭
- (II-267) 回転円板ろ床法に関する基礎的研究
厚 生 省・正 山 村 尊 房
松尾 友矩
- (II-268) 回転円板法の生物相と処理水質
宮 崎 大・正 増 田 純 雄
石黒政儀・渡辺義公
- (II-269) 回転円板法の浄化機構について
宮 崎 大・正 渡 辺 義 公
石黒政儀・増田純雄
- (II-270) 回転円板法による廃水の三次処理
宮 崎 大・学 西 留 清
石黒政儀・増田純雄
- (II-271) 回転円板法における酸素移動に関する一考察
北 大・学 武 智 弘 明
高桑哲男・寺町和宏
- (II-272) 天然ゼオライトによる下水中のアンモニア除
去実験 建 土 研・学 池 杉 直 文
安藤 茂・平山義人
- (II-273) 凝集沈殿汚泥を再使用することによるリン除
去プロセスのパーホマンズの改善に関する研
究 滋 賀 県・正 小 山 豊 一
島田 正夫
- (II-274) 都市排水中の各種有機成分の除去機構につ
て 北 里 大・学 伊 藤 善 祐
南部祥一・真柄泰基
- (II-275) Two-sludge 方式による硝化脱窒素法の研究
日 大・学 寺 山 喜 信
野中八郎・西村 孝
- (II-276) 循環(硝化混合液)方式による硝化脱窒素法
の研究 日 大・正 西 村 孝
野中八郎・寺山喜信
- (II-277) 下水処理プロセスにおける汚濁物質除去特性
京 大・正 山 田 春 美
宗宮 功・徳田 正
- (II-278) 嫌気性循環ろ床に関する実験的研究
京 大・正 北 尾 高 嶺
大方正信・小島修一
- (II-279) 下水の山地散布処理に関する実験的研究
広 島 大・学 藤 田 俊 雄
今岡 務・寺西靖治

汚泥処理・廃棄物

13:00~16:00

- (II-280) 薬品凝集処理における pH の影響について
岩 手 大・学 松 尾 幸 徳
桃井 清至
- (II-281) 水ガラスと難溶性アルカリ剤を主材とした凝
集剤の研究 近 畿 大・正 下 田 一 雄
三木五三郎・佐藤剛司
- (II-282) 沈降濃縮におよぼす pH の影響について
室 蘭 工 大・正 穂 積 準
河野 芳直
- (II-283) 上水汚泥の脱水 (II)
日 大・学 山 田 雄 久
金井昌邦・大木宣章
- (II-284) 汚泥の凍結融解処理にみられる二、三の現象
東 北 大・学 石 橋 良 信
佐藤 敦久
- (II-285) 下水汚泥安定化の研究
日 大・学 管 野 真 彦
金井昌邦・大木宣章
- (II-286) 下水汚泥脱水の研究 (IV)
日 大・正 大 木 宣 章

- (II-287) 下水スラッジ脱水ケーキの熱分解に関する研
究 京 大・学 後 藤 雅 史
平岡正勝・片柳健一
- (II-288) 都市ごみの機械分別に関する研究
京 大・学 藤 田 勝 康
平岡正勝・武田信生
- (II-289) 都市ごみプラスチック中の有害物質について
京 大・正 浦 辺 真 郎
岩井重久・高月 紘
- (II-290) トリチウム水のセメント固化に関する研究
(I) 京 大・正 西 牧 研 壮
筒井天寿・三宅千秋

▶223 教室 (第 4 新館 3 号館 2F)——

10 月 10 日 (日)

活性汚泥

9:00~12:00

- (II-291) 活性汚泥の呼吸作用についての一考察
東 北 工 大・正 江 成 敬 次 郎
松本順一郎
- (II-292) 活性汚泥の糸状性バクテリアについて
富山技術短・正 安 田 正 志
能登 勇二
- (II-293) 活性汚泥中の蓄積物の挙動に関する研究
公 害 研・正 津 野 洋
宗宮 功・合田 健
- (II-294) 活性汚泥による硝化のシミュレーション
京 大・学 上 野 正 雄
宗宮 功・河村清史
- (II-295) 活性汚泥による都市下水の代謝
京 大・正 河 村 清 史
宗宮 功・大塚浩正
- (II-296) 活性汚泥の基質除去特性について
九 大・正 山 崎 惟 義
栗谷陽一・小川ひろみ
- (II-297) SRT の汚泥性状に及ぼす影響
都 立 大・正 生 方 悠
- (II-298) 難分解性物質の活性汚泥分解に関する基礎的
研究 金 沢 大・正 松 井 三 郎
高橋裕之・石黒 徹
- (II-299) 流量調整槽に関する実験的考察
京 大・学 石 丸 賢 二
平岡正勝・山本 攻

底泥と水質・水質調査

13:00~16:00

- (II-300) 有機性汚泥の掃流に関する基礎的研究
大 阪 大・学 脇 本 修 自
末石富太郎・盛岡 通
- (II-301) 水質への底泥の影響について
東京設計 正 妹 崎 大次郎
- (II-302) 底泥の汚濁寄与に関する二、三の考察
立 命 館 大・正 山 田 淳
西本 安範
- (II-303) 底泥から水域への塩分輸送について
九州工大・正 浦 勝
- (II-304) 安定処理ヘドロの重金属汚染について
梅林建設・正 園 田 義 宣
梶原光久・丸山 繁
- (II-305) グラブ浚渫による浮遊物質の発生量
中 大・正 戸 澤 孝 吉
首藤 伸夫
- (II-306) 多摩川ヘドロの低水時浮遊移動機構について
建 土 研・正 馬 場 洋 二
伊藤 雄二
- (II-307) 湖沼底泥からのリンの溶出について
京 大・学 瓜 生 昌 弘
鈴木秀男・北尾高嶺
- (II-308) 湖沼底質によるカドミウム吸着特性に関する
研究 京 大・学 八 木 憲 彦
岩井重久・北尾高嶺

- (II-309) 広西大川における水質調査
呉高専・正小堀慈久
- (II-310) 石狩川水系の Hg 汚染
・正檀上 滋
鈴木哲・小野沢透
- (II-311) 阿賀野川・旧昭電排水口周辺の底質の Hg 汚染
新潟大・正鈴木 哲
小野沢透・福井義隆

▶243 教室 (第4新館3号館 4F)——

10月9日(土)

水質汚濁の基礎

9:00~12:00

- (II-312) 汚泥界面の不安定性について
九大・学田中慎一郎
栗谷陽一・楠田哲也
- (II-313) 傾斜板沈殿池における密度流による除去率
九州工大・正藤崎一裕
栗谷陽一
- (II-314) 傾斜板散水床の混合特性について
東北大・学陳重男
松本順一郎
- (II-315) 円筒型機械攪拌槽を用いた酸素移動に関する実験的研究
山梨大・正平山公明
松尾友矩
- (II-316) 嫌気性消化に及ぼす攪拌の影響
建士研・正佐藤和明
- (II-317) 汚濁河川における河床付着物「みずわた」の評価について(3)
函館高専・正芦立德厚
那須義和・川井邦宏
- (II-318) 付着生物の増殖に関する実験的研究
東北大・正大垣真一郎
黄栗来・松本順一郎
- (II-319) TLC による水中有機物の分離・同定に関する基礎的検討
東大・正松尾友矩
伊藤義一・三沢庸助
- (II-320) N, P から COD の変換について一換算係数の検討—
山口大・正浮田正夫
中西弘・宇野良治
- (II-321) 富栄養化における内部生産機構
建士研・正大島吉雄
松元賢市・阿部洋一
- (II-322) 土粒子への細菌の吸着について
東北大・学大村達夫

- (II-323) 好気性埋立における細菌叢(II)
福岡大・正松藤康司
花嶋正孝

汚濁予測・汚染予測

13:00~16:00

- (II-324) 下水汚泥の発生量に関する一考察
北大・正寺町和宏
高桑哲男
- (II-325) 河川における水質評価としての生物学的指標と理化学的指標の関連について
日本水道C・正高橋邦夫
安田正志
- (II-326) 都市生活系の雨天時汚濁流出に関する研究
大阪大・学室谷憲男
末右富太郎・盛岡通
- (II-327) 低有機汚濁河川における水質モデルについて
秋田高専・正羽田守夫
- (II-328) 活性汚泥の沈降特性と最終沈殿池制御に関する研究
金沢大・学田中文彦
松井三郎・広瀬清孝
- (II-329) 沈殿池モデルのパラメータ評価と濃度予測について
大阪大・正芝定孝
- (II-330) 下水処理場放流水質の重回帰分析
日本水道C・正白瀧良一
諸頭達夫・加藤善盛
- (II-331) 二次処理効率に及ぼす影響因子の統計的評価
日本水道C・正加藤善盛
諸頭達夫・白瀧良一
- (II-332) 都市環境における重金属の移行と蓄積
京大・学伊東明人
寺島泰
- (II-333) 廃棄物処分場周辺の環境影響評価
建設省・正小林一朗
井上頼輝・森澤真輔
- (II-334) 環境バックグラウンド放射能の変動特性と予測について
京大・学山本正史
三田村晃・寺島泰
- (II-335) 大気汚染濃度に関する統計的研究
京大・学重光和之
筒井天寿・塚谷恒雄
- (II-336) 周期回帰式およびカルマン・フィルターによる大気汚染のオンライン予測の経験について
東工大・正日野幹雄
吉川信二郎・栗原達雄

豆知識

わが国の水道普及率と

料金の上限・下限

『土木学会誌』の85ページに「わが国の下水道普及率と料金の上限・下限」が載っている。こ(本年4月刊行)れをみると水道普及率の最高位は東京都・

三鷹市で、人口による普及率96.4%、面積による普及率84.4%であるなど、興味ぶかいものがある。そこで今回は水道に関するいろいろなデータを集めてみた。日ごろ何の気なしに使っているくすいどうがどのような状態にあるか、確認されたい。

(b) 高普及率

(c) 低料金

(d) 高料金

(a) 低普及率

順位	都道府県	普及率(%)
1	茨城県	56.5
2	栃木県	58.8
3	岩手県	60.1
4	熊本県	63.9
5	秋田県	68.0
6	大分県	71.3
7	福島県	71.5
8	佐賀県	71.5
9	島根県	71.9
10	宮崎県	73.2

順位	都道府県	普及率(%)
1	東京都	99.3
2	大阪府	98.7
3	神奈川県	98.0
4	愛知県	95.2
5	兵庫県	94.6
6	京都府	93.2
7	沖縄県	92.2
8	静岡県	90.8
9	埼玉県	89.4
10	群馬県	89.1

注：全国平均85.4%。

順位	事業体名	10m ³ あたり料金(円)
1	鳴子町(宮城県)	100
1	稲沢水道企業団(愛知県)	100
3	白馬村(長野県)	110
4	日高町(兵庫県)	120
4	大竹市(広島県)	120
4	秦野市(神奈川県)	120
7	豊田市(愛知県)	125
8	山中町(石川県)	130
8	富士吉田市(山梨県)	130
8	一宮市(愛知県)	130
8	大阪市(大阪府)	130
8	池田市(大阪府)	130

順位	事業体名	10m ³ あたり料金(円)
1	中町(兵庫県)	1500
2	新龍水道(北海道)	1220
2	企業団(北海道)	1220
4	北村(北海道)	980
5	高取町(奈良県)	920
5	藤田村(岡山県)	920
7	由利町(秋田県)	910
8	石鳥谷町(岩手県)	900
9	羅臼町(北海道)	890
10	芳賀町(栃木県)	870

注：出典：水道産業新聞、昭和48年度末現在。(寺西靖治・記)